

授業科目	カウンセリング演習				実務家教員担当科目	○					
単位	1.	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期				
担当教員	杉本 有紗										
授業概要	<p>実務家教員として、本演習ではカウンセリングの理論と方法について解説する。</p> <p>カウンセリングの理論と方法には、心理職のみならず、対人援助職がその職務を適切に全うするため専門家として身に付けておくべき視点や技法が含まれている。</p> <p>本演習担当者は、学生相談室や高齢者施設における心理臨床経験をもつ実務家教員である。カウンセリング・心理療法には様々な学派があるが、本演習では、各学派の人間観とアセスメントや面接の技術、カウンセリングプロセス、カウンセリングの実践事例について臨床における有用性の視点から解説し、ディスカッションを行う。</p>										
授業形態	演習	授業方法	プレゼンテーション、ディスカッション								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングにおける態度、考え方について説明することができる。 2. 事例に応じた適切なアセスメントの方法について検討することができる。 3. 事例に応じたカウンセリングの方法とプロセスについて説明することができる。 4. 福祉領域における創造的な心理臨床的支援の方法について検討することができる。 										
理想的レベル	<p>事例に応じたカウンセリングの方法とプロセスを理解し、日常の対人場面においてもその技法を応用することができる。</p> <p>他者の置かれた心理的状況への理解を広げ、より良い心理的支援を追求することができる。</p> <p>事例に対する倫理的な配慮を心得て、対人援助職に就くことを念頭に入れたカウンセリング場面における自己の課題を自覚し、自己研鑽に努めることができる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）			備考							
試験											
小テスト											
レポート	65%			小レポート、最終レポート							
発表（口頭、プレゼンテーション）	35%			プレゼンテーション							
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE31415J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
<p>テキストを事前に読み、要約する。テキストの批判的考察を行う。授業で課された課題に取り組む。</p> <p>授業のプレゼンテーション、ディスカッションを振り返り、自分の意見を整理する。</p>										1	
授業計画											

第1回	テーマ：オリエンテーション・カウンセリングと心理臨床 カウンセリングと心理臨床について解説する。
第2回	テーマ：カウンセリングの基本と逐語録の作成 カウンセリングの基本構造を確認し、逐語録の作成方法について検討する。
第3回	テーマ：精神分析的な立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。
第4回	テーマ：分析心理学の立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。
第5回	テーマ：認知行動的な立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。
第6回	テーマ：催眠療法に基づく立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。
第7回	テーマ：ヒューマニスティック心理学の立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。
第8回	テーマ：トランスパーソナル心理学の立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。
第9回	テーマ：問題解決志向的な立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。
第10回	テーマ：日本で生まれたカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。
第11回	テーマ：学派の枠組みを超えたカウンセリングの事例1 無気力なクライアントのカウンセリングの事例を通してカウンセラーの態度とそのかわりについて検討する。
第12回	テーマ：学派の枠組みを超えたカウンセリングの事例2 イライラを止められないクライアントのカウンセリングの事例を通してカウンセラーの態度とそのかわりについて検討する。
第13回	テーマ：学派の枠組みを超えたカウンセリングの事例3 実感がもてないクライアントのカウンセリングの事例を通してカウンセラーの態度とそのかわりについて検討する。
第14回	テーマ：学派の枠組みを超えたカウンセリングの事例4 性格に悩んでいるクライアントのカウンセリングの事例を通してカウンセラーの態度とそのかわりについて検討する。
第15回	テーマ：まとめ これまでの授業内容を振り返る。
テキスト	『その場で関わる心理臨床 多面的体験支援アプローチ』田嶋誠一著 遠見書房 (2016)
参考図書・教材 ／データ ベース・	『日本の心理臨床3 からだとこころ 身体性の臨床心理』成瀬悟策著 誠信書房 (2009) 『日本の心理臨床6 カウンセリングと教育 学校現場で活かせる統合的アプローチ』倉光修著 誠信書房 (2011)

<p>雑誌等の 紹介</p>	<p>『看護・介護・保育の心理学 第2巻 心理臨床的支援の方法 カウンセリングのすすめ』菅佐和子編 岡堂哲雄監修 新曜社 (2010)</p> <p>その他、適宜紹介する。</p>
<p>課題に対 するフィ ードバッ クの方法</p>	<p>プレゼンテーションにコメントする。小レポートを返却する。</p>
<p>学生への メッセー ジ・コメ ント</p>	<p>本演習は、「臨床心理学概論」で学ぶ臨床心理学の基礎知識と、「カウンセリング論」で学ぶカウンセリングの基礎知識を必要とします。</p> <p>上記科目の単位を習得していない学生は、予備知識が不足しているため履修することはできません。先に、上記科目の単位を取得してください。</p> <p>「心理臨床学研究」を読んでみましょう。最新の事例研究が掲載されています。各心理療法の専門書を読むと、様々な諸立場のカウンセリングの考え方や技法を学ぶことができます。</p>